

CEⅡ 答え  
STEP01

答えを丸暗記することより、「どうしてそうなるのか」を考えることが大事！

- A (1) ③ (2) ① (3) ① (4) ② (5) ④ (6) ② (7) ② (8) ④  
(9) ② (10) ④ (11) ④ (12) ① (13) ① (14) ① (15) ① (16) ④  
(17) ④ (18) ① (19) ① (20) ② (21) ③

B

- (1) ③ will have → have  
(2) ③ has already been teaching → had already been teaching  
(3) ② will rain → rains  
(4) ② have been → were  
(5) ③ has → had  
(6) ① has been performed → had been performed

訳(参考)

- A(1) その有名な作家は2年前にそのSF小説を書いた。  
(2) 私がサンディーを2時間前に見かけたとき、彼女は図書館で勉強していた。  
(3) 兄[弟]はテニスで私に負かされたことが1度もない。  
(4) あなたが戻ってくるまで、私はここで待っています。  
(5) あなたはその本を読み終えたらすぐに返却しなければならない。  
(6) 私は彼が今度の日曜日に私たちを訪ねてくるのかどうかわからない。  
(7) トムとメアリーは子どものころからお互い知り合いだ。  
(8) 私はガールフレンドを見送りに博多駅まで行ってきたところだ。  
(9) 私の父は普段は午後7時に仕事から帰宅する。  
(10) 次の金曜日の今ごろは、私はカナダでスキーをしているだろう。  
(11) 「有名な物理学者のアルバート・アインシュタインが肉を食べるのをやめたということを知っていましたか」  
「ええ、私の記憶が正しければ、彼は亡くなる1年前に厳格な菜食主義者になったのです」  
(12) 電話が鳴ったとき、エミリーは外出しようとしていたところだった。  
(13) その2社が合併してから10年になる。  
(14) 年会費を支払うのを忘れてしまったので、この会員カードは有効期限がこの前の月曜日で切れてしまった。  
(15) ボブが借金を返すと約束してから2か月が経った。  
(16) 私の父は亡くなって7年になる。  
(17) ポールのヨットは次の3月末までにはハワイに着いていることだろう。  
(18) 私たちはすっかり雪にはうんざりしている。もう4週間も雪が降り続けている。  
(19) 彼女は前にその映画を見たことがあったので、私たちと一緒に映画に行きたいと思わなかった。  
(20) 彼らはごく最近までここにいた。  
(21) 彼の母親と父親は、彼が現れたときにはすでに立ち去ってしまっていた。

B

- (1) 私たちがさらに情報を得たらすぐあなたにお知らせします。  
(2) ブラウン先生が1980年に学校に来たとき、カーター先生はすでにそこで10年間教えていた。  
(3) もし明日雨が降ったら、私たちの運動会は延期されるだろう。  
(4) パイロットがほぼ目的地にいると告げたとき、乗客の多くは眠っていた。  
(5) 1890年代までには、その運動はヨーロッパと北アメリカに広まっていた。  
(6) ニューヨークの小さな劇場で2年間上演され続けていたその劇は、今度は世界中の観客を魅了するハリウッド映画に改編された。

**STEP02**

- A (1) ② (2) ② (3) ④ (4) ③ (5) ② (6) ④ (7) ① (8) ②  
(9) ③ (10) ② (11) ③ (12) ④ (13) ④

B

- (1) ② hold → held  
(2) ④ disturb → be disturbed  
(3) ③ should avoid → should be avoided  
(4) ③ to lay off → to be laid off

**訳(参考)**

- A**(1) FIFAワールドカップは4年に1度開催される。  
(2) 多くの種類のがんの治療法がもうすぐ見つかるだろうと多くの医師が信じている。  
(3) 彼はラグビーをしている間にけがをした。  
(4) これらのDVDは貸し出し禁止です。  
(5) 電話が先週からつながらない。  
(6) 昨日私は外国人に日本語で話しかけられた。  
(7) 情緒面の問題を持つ子どもを治療するのに、音楽がますます用いられている。  
(8) 彼女は鉄道の駅に向かう途中でわか雨にあった。  
(9) その山は1年の今ごろは雪でおおわれているに違いない。  
(10) 私は兄[弟]の部屋を掃除させられた。  
(11) これらの部屋はいつも清潔で整然と保たれている。  
(12) 昨日は天気がとても悪かったので、試合は来週まで延期しなければならなかった。  
(13) その女の子は歌うのを彼に聞かれた。

**B**

- (1) 進化生物学の講義が、昨夜かなり寒い部屋で行われた。  
(2) もし夫が電話をかけてきたら、私は重要な会議に出席していて中座できないと彼に伝えてください。  
(3) 政治や宗教や他人の悪口のような話題は、日常会話では避けるべきだ。  
(4) 会社が不況に見舞われたため、多数の従業員が解雇されなければならないであろうことは、避けられないようだ。

※時事英語問題 Part2 (英語にしてみよう!) ⇒ 答えは次回

- ① 四六時中  
② SNS  
③ テレワーク  
④ 3密(密閉・密集・密接)  
⑤ ソーシャルディスタンス  
⑥ ステイホーム

**STEP03**

- A(1) ② (2) ② (3) ① (4) ④ (5) ④ (6) ③ (7) ① (8) ④  
(9) ② (10) ① (11) ③ (12) ④ (13) ③ (14) ④ (15) ② (16) ①  
(17) ② (18) ② (19) ② (20) ①

B

- (1) ③ cooking → cook  
(2) ① to attend → attend  
(3) ② being → be

**訳(参考)**

- A**(1) この地区では暗くなったあとジョギングはしないほうがよい。  
(2) 免許なしで運転してはいけない。法律に違反している。  
(3) ルーシーは幸せでないはずがない。素晴らしい男性と結婚したばかりだ。  
(4) 窓がどこか不具合だった。どうしても開かない。  
(5) 私が少年だったころ、教会の前に大きな池があった。  
(6) この手紙の英語はうますぎる。彼が自分で書いたということはありません。  
(7) その映画はすばらしかった。あなたは私と一緒に来るべきでした。  
(8) あなたはそのようなことを彼女に言うべきではなかった。彼女はとても悲しそうだ。  
(9) ピーターは映画に行くよりはむしろ家にいたい。  
(10) 彼の先生は彼に明日の午後までに宿題を終わらせるようにと要求した。  
(11) 書類が金庫に保管されていることはきわめて重要である。  
(12) 「早く。ショーは7時半の始まりなのに、もう10分過ぎだ」「急がなければ。少しも見逃したくないもの」  
(13) 天気予報に反して、昨日は雨が降らなかった。私たちはレインコートや傘を持ってくる必要はなかった。  
(14) もうすでに会ったことがあるので、あなたは私をその教授に紹介する必要はない。  
(15) 私たちが子どもだったころ、毎年冬にはスキーに行ったものだ。  
(16) 彼は電車に乗りそこなつたに違いない。さもなければ今ごろには到着しているはずだ。  
(17) 電車ではとても時間がかかる。飛行機で行ったほうがよい。  
(18) 「なぜこの手紙がまだここにあるの?」「ああ! 昨日の午後に投函すべきだったけれどすっかり忘れてしまった」  
(19) ケンは車を盗まれてしまったので、彼女を車で空港に送ったはずがない。  
(20) 「よく映画に行きますか」「今は行きませんが、でも以前はよく行っていました」

**B**

- (1) 私は家で料理をするよりはむしろ外食したい。  
(2) すべての人が明日の会議に出席することが不可欠です。なぜなら重要な問題が話し合われる予定だからです。  
(3) 外国の大学で勉強することは以前は裕福な人々に限られていた。

※やり方※

- ①赤で○つけをします  
②間違ったところは自分の答えを消さないで赤で正解を書いてください  
③「解説の仕方」を参考に間違ったところの解説を再考してください  
あっていたところも復習してください

解説の仕方

※空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

- The famous author (        ) the science fiction novel two years ago.  
① has been writing    ② writes    ③ wrote    ④ has written

「文中に two years ago 過去を表す言葉があるので過去形の文であることがわかる」

∴ ③ The famous author ( wrote ) the science fiction novel two years ago.

訳(参考): その有名な作家は2年前にそのSF小説を書いた。

- My father usually (        ) home from work at 7:00 p.m.  
① coming    ② comes    ③ come    ④ has come

「文中に usually があることから現在の習慣であることがわかるので現在形」

∴ ② My father usually ( comes ) home from work at 7:00 p.m.  
↑ 三(人称)単(数)現(在) ↑

訳(参考): 私の父は普段は午後7時に仕事から帰宅する。

文意(意味)からしか判断できないものは全訳して解説してください。

(選択肢も訳す)

※英文には誤りが1箇所ずつある。番号を指摘し、正しく直しなさい。

- (5) By ①the ②1890s, the movement ③has ④spread to Europe and North America.

「1890年代までにという過去のある時点までの完了⇒過去完了」

∴ ③ has → had  
By the 1890s, the movement ( had ) spread to Europe and North America.  
↑ 過去完了

訳(参考): 1890年代までには、その運動はヨーロッパと北アメリカに広まっていた。

第4問

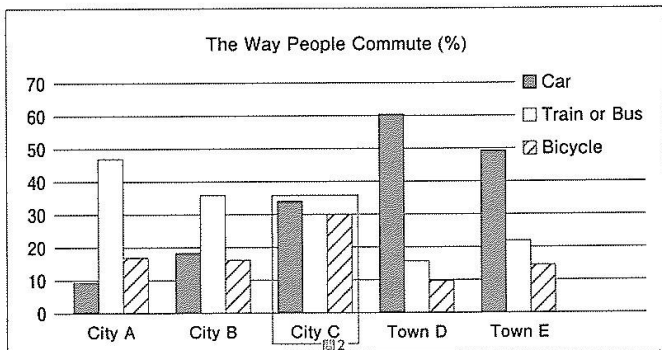
More Commuters in Towns Should Cycle

by Okada Yuko

September, 2019

People all over the world are interested in environmental issues. One big positive or negative impact is how people commute to work or school. While all forms of motorized transport can contribute to climate change, <sup>問3</sup>trains and buses that carry many passengers produce less CO<sub>2</sub> than thousands of cars. <sup>問1(4)</sup>Moreover, traffic jams can be avoided and air quality can be improved. However, riding a bicycle to your destination would clearly be the best method.

The graph shows the ways that <sup>目的語</sup>people commute in five areas. Unfortunately, here in Town D, the number of bicycle users is too small. The same is true for Town E. City C has the highest number of cyclists, 30% of all commuters. As we can see, in City B, the number of cyclists is almost as large as that of car users. I believe the difference between the towns and the cities is because of the lack of public transport in towns. This means that in towns, people depend on their cars.



I don't think that the amount of public transport can increase in towns. Instead, we should promote the use of bicycles. Riding a bike is a great form of exercise. However, there are things that could be done to encourage commuting by bicycles. Firstly, <sup>問4</sup>companies should help their cycling employees by providing showers and lockers. Secondly, as many riders commute a long way, <sup>問1(3)</sup>more cycle lanes are needed on roads or sidewalks to create a smoother and safer journey. Come on everyone: let's travel by two wheels and not four!

The Viewpoint of a Cycling Commuter

by Lars Jensen

October, 2019

After reading Ms. Okada's report, I am proud to be living here. We regularly ride bicycles. I didn't know that in other places commuting by bike is not so common. Here, <sup>問2</sup>about the same number of people <sup>問5</sup>travel by bike as by car — about one third. <sup>問1(3)</sup>One reason for this is our great system of cycle lanes, and our supportive employers.



通勤・通学のしかたが環境に影響  
自転車が一番

グラフについて  
町は車に頼っている

〈グラフ〉通勤・通学方法

自転車を増やすべき  
方法：  
・会社にシャワーとロッカー  
・自転車レーン

自分の市について  
…自転車多い

40 <sup>問3</sup> As well as being environmentally-friendly, cycling is good for our physical and mental health. Commuting becomes your daily exercise! Riding a bicycle is certainly less stressful than being on a bus with many people, or in a car that isn't moving. I am in a better mood when I arrive at work after cycling than after taking the bus. <sup>問11</sup> Of course, there are a few bad points I should mention. <sup>問11</sup> Riding a bike isn't much fun on a rainy day! Also, car drivers and cyclists need to respect each other to avoid accidents.

45 However, one problem that those commuting by bike still have is a lack of parking spaces. <sup>問4</sup> More spaces would encourage more people to ride. What would also help is a rent-a-bike system. I've seen this in other places.  
50 People share bicycles and rent one when they need one. In the future, I would like to see more cyclists than car drivers here.

自転車の長所：  
心と体の健康  
短所：雨の日は困る

問題点：駐輪場の不足

問1  ②

「オカダ・ユウコもラズ・ジェンセンも  について言及していない。」

- ① 自転車で通勤・通学することの悪い面
- ② 町のバスや電車の数が増えるべきだということ
- ③ 自転車利用専用の道路のエリア
- ④ バスや電車で通勤・通学することのよい面

☀️ 2人のうちのどちらか、または両方が話題にしているものは、消去法で除外しよう。

- ① ラズが言及している。II. 44～45で Of course, there are a few bad points I should mention. 「もちろん、言っておくべき悪い点もいくつかある」と言って、自転車の短所について述べている。
- ② どちらの記事にもない内容。ユウコが II. 13～15で町の公共交通機関について触れているが、I. 26で「その数は増えると思えない」と言っており、②には合わない。
- ③ 2人とも言及している「自転車レーン」が「自転車利用専用の道路のエリア」にあたる。ユウコは II. 30～32で、ラズは II. 38～39で「自転車レーン」について述べている。
- ④ ユウコが言及している。II. 5～7で「電車やバスは、何千台もの車より、二酸化炭素の排出が少ない。さらに、交通渋滞を避けることができ、大気質も改善することができる。」と、バスや電車の長所を述べている。

問2  ③

「ラズ・ジェンセンは  に住む。」

- ① A市
- ② B市
- ③ C市

④ E町

☀️ ラズが自分の町について述べている箇所を探し、グラフと照らしあわせよう。

ラズは第1段落で自分の町の通勤・通学状況について述べている。II. 37～38の Here, about the same number of people travel by bike as by car — about one third. 「ここでは、自転車で通勤・通学する人の数は、車の人の数とほぼ同じで、約3分の1だ」に注目する。グラフを見て、自転車と車の使用者の割合が同じで、どちらも約3分の1（全体の3分の1なので、約30%）の町を探すと、City Cがそれにあたる。よって、正解は④。the same number of A as B「Bと同じ数のA」や one third「3分の1」といった数を表す表現に注意が必要。

問3  ·  ①・②

「記事によると、自転車で通勤・通学することは、 と  により影響を与える。(順序は問わない。)」

- ① ある地域の汚染の量を減らすこと
- ② 私たちの体と心
- ③ 仕事での成功
- ④ 大気中の二酸化炭素の質

☀️ パラグラフ・メモをもとに、自転車利用の利点が書かれた箇所を探し、2人の意見をそれぞれまとめよう。

自転車利用の利点について、ユウコは第1段落で触れている。II. 4～7で「電車やバスは二酸化炭素の排出量が車より少なく、大気を汚染しない」、I. 8で「しかし、自転車が明らかに最善の方法だ」と述べている。話の流れから、「自転車が汚染の量を減らすのにもっとも有効だ」と言いたいのだとわかる。また、ラズは第2段落で自転車利用の利点を語っている。II. 40～41で「自転車は身体の健康

にも精神の健康にもよい」と述べ、そのあとで具体的に説明をしている。この2点を言い換えた①と②が正解。

③④ 記述なし。

問4 10 ① 11 ⑤

「オカダ・ユウコは 10」と言い、ラーズ・ジェンセンは 11」と言っている。(それぞれの空所に異なる選択肢を選びなさい。)

- ① 職場によりよい設備があれば、自転車で通勤する人が増えるかもしれない
- ② 町の人々は自転車で通勤したがる
- ③ バスに乗れば、自転車よりも二酸化炭素の排出が少ない
- ④ 自転車レーンと、支援してくれる雇用主が増えている
- ⑤ 自転車をとめる場所を増やすべきだ

☀️ パラグラフ・メモをもとに、2人の主張をそれぞれ把握しよう。

- ① ユウコは II. 29 ~ 30 で、自転車利用者を増やす方法として「企業がシャワーやロッカーを提供して自転車通勤者を支援すべきだ」と述べており、これを言い換えた①がユウコの発言内容として適する。
- ② 記述なし。
- ③ II. 5 ~ 6「バスの二酸化炭素の排出は車より少ない」という記述はあるが、自転車とは比較していない。
- ④ 自転車レーンと雇用主の支援については、ユウコが II. 29 ~ 32 で「これから増える」と言い、ラーズは II. 38 ~ 39 で「自分の市にはある」旨の発言をしているが、いずれも「現在増えている」という話ではない。
- ⑤ ラーズは II. 47 ~ 48 で、現在の問題は駐輪場の不足で、自転車利用者を増やすためにはもっと増やすべきだ、と述べている。これがラーズの発言としてふさわしい。

問5 12 ①

「両方の記事からの情報に基づいて、あなたは宿題のレポートを書くつもりだ。あなたのレポートにもっともふさわしいタイトルは 12」だろう。」

- ① 自転車に乗ることがいかに環境とあなたの健康を改善するか
- ② 車を家に置いて、バス、電車または自転車に乗りよう
- ③ 自転車に乗ることで気候変動の原因となっている人々が増えている
- ④ 車で通勤することの長所と短所

☀️ 各記事の要旨を把握し、共通する主張をまとめよう。  
ユウコは、第1段落で「自転車通勤・通学は環境によい」として、第3段落で「自転車利用を増やす方法」を論

じ、「自転車に乗ろう!」ということばで論をしめくくっている。ここから、「環境にいい自転車の利用を促進しよう」という要旨が読みとれる。ラーズは、第2段落で「自転車は身体・精神の健康にもよい」と利点を述べ、第3段落では「自転車の利用を増やすために改善すべき点」を挙げ、こちらも「より多くの自転車利用を望む」と結んでいる。ここから、「自転車は身体・精神の健康によいので自転車に乗ろう」という要旨が読みとれる。これらをまとめた①が、タイトルにふさわしい。

- ② 自転車による通勤・通学に焦点が置かれており、バスや電車は話題の中心ではない。
- ③ 自転車に乗ることは気候変動の要因とはならない。
- ④ 車で通勤することの長所については述べられておらず、また、これが話題の中心ではない。

## 全訳

あなたは自転車の利用について調べている。あなたは2つの記事を見つけた。

町の自転車通勤・通学者がもっと増えるべきだ

オカダ・ユウコ

2019年9月

世界中の人々が環境問題に関心をもっている。大きなよい影響、もしくは悪い影響となるのは、人々が通学または通勤する方法だ。エンジンがついたあらゆる種類の交通手段が気候変動の原因となりうる一方で、多くの乗客を運ぶ電車やバスは、何千台もの車よりも二酸化炭素の排出が少ない。さらに、交通渋滞を避けることができるし、大気質も改善することができる。しかし、目的地まで自転車で行くことが、明らかに最善の方法だろう。

グラフは、5つの地域の人々が通勤・通学する方法を示している。あいにく、ここD町では、自転車の利用者数があまりにも少ない。E町にも同じことが言える。C市は自転車の利用者数をもっとも多く、全通勤・通学者の30%だ。おわかりのように、B市では、自転車の利用者数が車の利用者数とほぼ同じだ。町と市のこの違いは、町の公共交通機関が不足していることによると思われる。これは、町では人々は車に依存しているということだ。

グラフ：人々の通勤方法(%)

町の公共交通機関が増えるとは思えない。代わりに、自転車の利用を促すべきだ。自転車に乗ることは、素晴らしい運動の一種だ。しかし、自転車での通勤・通学を促進するためにできることがいくつかある。まず、企業はシャワーやロッカーを提供して、自転車通勤の従業員を支援すべきだ。第2に、多くの自転車利用者が長い道のりを通勤するので、よりスムーズかつ安全に移動できるように、道路や歩道に自転車レーンを増やす必要がある。さあ、みなさん、

4 輪ではなく 2 輪で〔一車ではなく自転車〕移動しよう！

#### 自転車通勤者の見解

ラズ・ジェンセン

2019 年 10 月

オカダさんのレポートを読んで、私はここに住んでいることが誇らしい。私たちは定期的に自転車に乗る。自転車で通勤・通学することがほかの地域ではそれほど一般的ではないとは知らなかった。ここでは、自転車で通勤・通学する人の数は、車で通勤・通学する人の数とほぼ同じで、(全体の) 約 3 分の 1 だ。この理由の 1 つは、この市の自転車レーンというすばらしいシステムと、支えてくれる雇用主だ。

環境に優しいだけでなく、自転車に乗ることは、私たちの身体的、精神的健康にとってよい。通勤・通学があなたの毎日の運動になるのだ！ 自転車に乗ることは、多くの人といっしょにバスの中にいたり、動かない車の中にいたりするよりも、確かにストレスが少ない。私は、バスに乗ったあとよりも、自転車に乗ったあとのほうが、職場に着いたときにより気分がいい。もちろん、言うておくべき悪い点もいくつかある。自転車に乗ることは、雨の日にはあまり楽しくないのだ！ また、車の運転手も自転車に乗る人も、事故を避けるために互いに敬意を払う必要がある。

しかし、自転車で通勤・通学する人がいまだに抱えている問題の 1 つが、駐輪場の不足だ。スペースが増えれば、より多くの人々が自転車に乗ろうという気になる〔←スペースの増加が、より多くの人々に自転車に乗るのを促す〕だろう。また、レンタル自転車のシステムも助けになるだろう。私はほかの場所で見えたことがある。人々は自転車をシェアし、必要なときに借りるのだ。将来、この市で車の利用者よりも多くの自転車利用者が見られれば、と思う。

#### 語句・構文

- 1.1 **commuter** [kəmju:tər] 「通勤・通学する人」
- 1.1 **cycle** [saɪkl] 「自転車に乗る」
- 1.4 **positive** 「よい、有益な」
- 1.4 **negative** 「害のある、よくない」
- 1.4 **commute** 「通勤・通学する」 commute to work 「通勤する」、commute to school 「通学する」。
- 1.5 **form** 「形態、種類」
- 1.5 **motorized transport** 「エンジンのついた交通手段」車やバイクなどを指す。motorized 「(形) エンジンのついた」
- 1.5 **contribute to** ~ 「~の原因となる」
- 1.5 **climate change** 「気候変動」
- 1.5 **trains and buses that carry many passengers produce** ~ 主語が trains and buses. 述語動詞が produce. that carry many passengers は trains

and buses を修飾する関係代名詞節。passenger 「乗客」

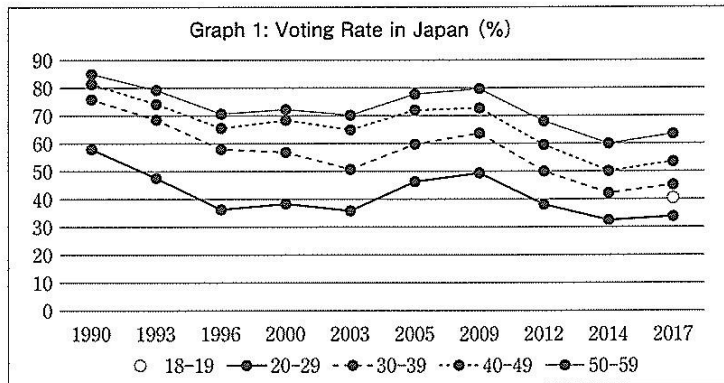
- 1.6 **thousands of** ~ 「何千もの~」
- 1.7 **moreover** 「さらに、そのうえ」
- 1.7 **traffic jam** 「交通渋滞」
- 1.8 **destination** [dɛstəneɪʃən] 「目的地」
- 1.10 **the same is true for** ~ 「~にも同じことが当てはまる」
- 1.12 **as we can see** 「おわかりのとおり」
- 1.14 **lack of** ~ 「~の不足」
- 1.15 **depend on** ~ 「~に頼る」
- 1.27 **promote** 「~を促進する」
- 1.29 **firstly** 「第 1 に」 first より固い語。
- 1.29 **employee** 「従業員、被雇用者」
- 1.30 **secondly** 「第 2 に」
- 1.30 **as** 原因を表す。
- 1.31 **cycle lane** 「自転車レーン」
- 1.31 **sidewalk** [saɪdwɔ:k] 「歩道」
- 1.31 **smooth** 「スムーズな、なめらかな」
- 1.32 **journey** 「(旅や通勤などの) 行程」
- 1.32 **wheel** [wi:l] 「車輪」
- 1.35 **be proud to do** 「~することを誇らしく思う」
- 1.36 **regularly** 「定期的に、頻繁に」
- 1.37 **common** 「よく見られる、ごくふつうの」
- 1.37 **the same A as B** 「B と同じ A」
- 1.38 **one third** 「3 分の 1」 of two thirds 「3 分の 2」
- 1.39 **supportive** [səpɔ:rtɪv] 「協力的な」
- 1.40 **A as well as B** 「B だけでなく A も」ここでは、as well as B が文頭にきている。
- 1.40 **environmentally-friendly** 「環境に優しい」
- 1.42 **certainly** 「確かに」
- 1.42 **stressful** 「ストレスの多い」
- 1.42 **than being on a bus with ~, or in a car that isn't moving** or は on a bus with ~ と in a car that isn't moving をつないでいる。that isn't moving は a car を修飾する関係代名詞節。
- 1.43 **be in a good mood** 「気分がよい」ここでは good が比較級 better になっている。
- 1.45 **isn't much fun** 「それほど楽しくない」not much ~ は「あまり[それほど]~でない」の意味。
- 1.47 **one problem that those commuting by bike still have** ここまでが主語。those commuting ~ は those people who are commuting ~ の意。
- 1.48 **encourage O to do** 「O に~するよう促す」
- 1.48 **what would help** 「助けとなりうるもの」
- 1.49 **rent-a-bike system** 「レンタル自転車の制度」
- 問 2 **be from** ~ 「~在住で」from は現在住んでいる場所を表している。



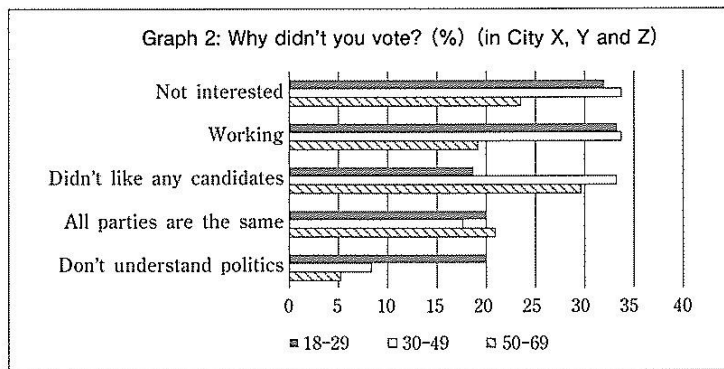
# 第4問



〈グラフ1〉日本の投票率



〈グラフ2〉投票しなかった理由



Suzuki Kento

I was disappointed when I looked at Graph 1 and realized that the voting rate of young people in Japan is so low, especially in the last ten years. I think everyone should vote and I am looking forward to doing so in the future.

投票率低くて残念

According to Graph 2, most young people said that they were not interested in voting. I'm surprised that they said this because I think the decisions made by the government affect all of our lives. Other people mentioned that they were busy working and unable to vote. I know that many people work long hours, but voting booths are open from morning to evening. Also, you can even vote before election day.

理由について

- 興味ない
- 忙しい

I think that young people should understand the connection between politics and things that are important to us in our lives such as having a job, bringing up children and healthcare. If they do, perhaps they will realize that voting is important. I plan to share with my classmates the SNS apps and websites I have used to become familiar with politics.

政治と日常生活のつながりを理解すべき

提案：アプリとサイト

Tess Piers

Looking at Graph 1, I was not surprised that the situation in Japan is similar to that in Britain. In both countries, many young people don't vote.

Some of the reasons are given in Graph 2. Almost 20% of people under 30 said that they were not satisfied with any of the candidates. I sometimes feel this way as well. Also, many young people said that they don't understand politics, so perhaps they didn't feel able to vote. I can understand this way of thinking. We often hear adults talking about political issues. This means that some people may believe that politics is only understood by older people.

I think that the voting rate will only increase if students are educated about politics in school. There is a link between politicians' decisions and our taxes, schools and public transport. Knowing this, I think young people would want to vote, even if there is no perfect candidate. Politics can be taught in an interesting manner such as by having a mock election. In this way, young people can learn about different parties and how they think about important issues. I will suggest this to my classmates and teachers.

イギリスも日本も若者が投票しない

理由について

- 候補者に不満
- 若者には政治はわからない

政治と生活とのつながりを知るべき  
提案：模擬選挙

問1 [ 6 ] ㉔

「 [ 6 ] は若者の投票率が予想よりも高いと思った。」

㉔ ケントもテスも～と思わなかった

💡 感情を表すことばに注意しながら、グラフに対する2人の見解をとらえよう。

ケントは II. 23 ~ 24 で I was disappointed when ~ realized that the voting rate of young people in Japan is so low 「日本の若者の投票率がとても低いことを知ってがっかりした」と述べており、予想よりも投票率が低いと感じていると考えられる。テスは II. 38 ~ 39 で I was not surprised that the situation in Japan is similar to that in Britain. In both countries, many young people don't vote. 「日本の状況がイギリスと似ていることに驚かなかった。どちらの国でも、多くの若者が投票しない」とあり、投票率が低いことには驚かない、すなわち予想どおりだったことがわかる。よって、正解は㉔。

問2 [ 7 ] ㉔

「ケントとテスのどちらも、若者は [ 7 ] べきだと言っている。」

- ① 投票できるように早く仕事を終わらせる
- ② 政治が自分たちの日常生活と密接に関わっていることに気づく

㉔ 政治と投票は年長の人だけのものだと思うことをやめる

④ 政治についてもっと理解するためにソーシャルメディアを使う

💡 メモをもとに、若者に対する2人の考えをまとめ、共通点を見つけよう。

ケントは II. 32 ~ 34 で、若者は政治と自分たちの生活にとって大切なこととの関わりを理解すべきだ、と主張している。また、テスは第3段落で、政治と私たちの生活(税金、学校や公共交通)の間のつながりを理解すれば、若者も投票したくなるだろう、と述べている。双方とも、若者が政治と生活との関連に気づくことの重要性を述べているので、㉔が正解。

① 記述なし。

③ 「政治は年長の人だけのものだと思っている人がいる」ことについてはテスしか言及していない (II. 44 ~ 45) ので不適切。

④ 「政治に詳しくなるのに使った SNS のアプリとウェブサイト」についてはケントしか言及していない (II. 35 ~ 36) ので不適切。

問3 8 ①

「ケントもテスもレポートで『 8 』について言及していない。」

- ① すべての政党は同じだ
- ② どの候補者もよいと思わなかった
- ③ 興味がなかった
- ④ 仕事をしていた

💡 2人のうちどちらか、または両方が話題にしているものを、消去法で除外しよう。

選択肢はグラフ2の項目名になっている。グラフ2については、ケントもテスも第2段落で触れているので、第2段落を確認し、2人が言及していないものを選ぶ。

- ① 2人とも言及していない。政党について、テスが1.51で「若者はさまざまな政党について学ぶことができる」と述べているが、「違いがわからない」ことについては書かれていない。
- ② テスが11.40～41で触れている。
- ③ ケントが11.26～27で触れている。
- ④ ケントが11.28～29で触れている。

問4 9 ③

「レポートで、ケントは『 a 』と言い、テスは『 b 』と言っている。『 9 』」

- ① a. 調査を行う b. 模擬選挙を行うことを目指す
- ② a. 調査を行う b. 適する候補者を提案する
- ③ a. 情報源を共有する b. 模擬選挙を行うことを目指す
- ④ a. 情報源を共有する b. 適する候補者を提案する

💡 2人が「これからする」と言っていることを把握し、その内容を言い換えた選択肢を選ぼう。

ケントは11.35～36でI plan to ～とこれからすることを述べている。その内容は「政治に詳しくなるのに使ったSNSのアプリとウェブサイトクラスメートに紹介する」ことで、これは「政治に関する情報源を共有する」と言い換えられる。また、テスについては1.52のI will ～に注目する。I will suggest this to my classmates and teachers. のthisは1.50のhaving a mock election「模擬選挙を行うこと」を指している。よって、aim to have a mock electionが正しい。aとbがともに正しいのは③。

問5 10 ②

「あなたはインターネットで4つの記事を見つけた。下のタイトルAに基づく、ケントとテスの両者にもっとも役に立つ記事は『 10 』だろう。」

- ① だれに投票すべきか、先生にアドバイスを求めよう
- ② 私たちの市の青少年の投票率をどのように上げたか
- ③ 働く人々がもっと投票しやすくなるようにしよう
- ④ 完璧な候補者を探そう

💡 2人の主張を把握し、その共通点をまとめた選択肢を選ぼう。片方だけを支持するものは、選ばないように注意。

- ① 記述なし。テスは「学校で政治について教われれば、投票率は上がるだろう」と述べているが、「だれに投票すべきか」を先生に教わるべきとは言っていない。
- ② 2人はどちらも、若者の投票率を上げるべきだという旨の主張をしており、どうすれば若者の投票率が上がるかを論じている。実際に若者の投票率を上げた例が参考になると考えられるので、これが正解。
- ③ 「仕事で忙しくて投票できない」と言う人については、ケントしか言及していない(11.28～31)。また、「投票所は朝から晩まで開いているし、投票日の前でも投票できる」と言っており、③の記事は必要ないと思われる。
- ④ 「適当な候補者がいない」ことについては、テスしか言及していない(11.40～42)。

全訳

授業で、下の2つのグラフに基づき、みんながレポートを書いた。あなたはこれから、ケントとテスが書いたレポートを読む。

グラフ1：日本の投票率

グラフ2：なぜ投票しなかったのか？(%) (X市, Y市, Z市)

- 興味がなかった
- 仕事をしていた
- どの候補者もよいと思わなかった
- すべての政党は同じだ
- 政治がわからない

スズキ・ケント

ぼくはグラフ1を見て、日本の若者の投票率が特にこの10年間とても低いことを知ってがっかりしました。ぼくはだれもが投票すべきだと思っているし、将来投票するのを楽しみにしています。

グラフ2によると、ほとんどの若者が投票に興味がないと言いました。政府による決定が自分たちの生活すべてに

影響すると思うので、彼らがこのように言っていて驚きました。仕事で忙しくて投票できないと言った人もいました。多くの人々が長時間働いていることは知っていますが、投票所は朝から晩まで開いています。また、投票日より前に投票することさえできます。

若者は政治と、就職や育児、医療などの自分たちの生活において大切なこととのつながりを理解すべきだと思います。そうすればおそらく投票が大事だとわかるでしょう。ぼくは、自分が政治に詳しくなるために使った SNS のアプリとウェブサイトを、クラスメートに紹介する〔←クラスメートと共有する〕つもりです。

#### テス・ピアーズ

グラフ1を見て、日本の状況がイギリスと似ていることには驚きませんでした。どちらの国でも、多くの若者が投票しません。

その理由のいくつかはグラフ2で示されています。30歳より年下の〔→18～29歳の〕20%近くが、どの候補者にも満足できないと言いました。私もときどきこのように感じます。また、多くの若者が、政治がわからないと言いました。だからおそらく彼らは、投票はできないと感じたのでしょう。私にはこの考え方がわかります。私たちは、大人が政治的な問題について話しているのをよく聞きます。これは、政治はもっと年長の人にしか理解できないと思っている人がいるかもしれないということを意味します。

生徒が学校で政治について学ばないと、投票率は上がらない〔←政治について学んだ場合のみ、投票率は上がる〕と思います。政治家の決定と私たちの税金、学校や公共交通との間には、つながりがあるのです。これがわかれば、完璧な候補者がいなくとも、若者も投票したくなるだろうと思います。政治は、模擬選挙を行うといったような、おもしろい方法で教えることができます。この方法で、若者はさまざまな政党と、それら(政党)が重要な問題についてどのように考えているかについて学ぶことができます。私はこのことを、クラスメートと先生方に提案するつもりです。

#### 語句・構文

- 1.1 **voting rate** 「投票率」
- 1.17 **candidate** [kændɪdət] 「候補者」
- 1.18 **party** [pɑ:ti] 「政党」
- 1.25 **doing so** voting 「投票すること」を指している。
- 1.27 **the decisions made by the government** 「政府によってなされた決定」
- 1.28 **affect** [əfekt] 「～に影響する」
- 1.29 **be unable to do** 「～できない」
- 1.30 **voting booth** 「投票所」

- 1.31 **election day** 「投票日」
- 1.32 **connection between A and B** 「AとBとの関係、つながり」ここではAがpolitics、Bがthings that ~ healthcareとなっている。
- 1.33 **things that are important to us in our lives such as having a job, bringing up children and healthcare** that are ~ our livesとsuch as ... and healthcareの両方がthingsを修飾している。
- 1.34 **bring up** ~ 「～(子ども)を育てる」
- 1.34 **healthcare** 「健康管理、医療」
- 1.35 **share A with B** 「AをBと共有する」本文では、Aが長いために、share with B Aの語順になっている。
- 1.35 **the SNS apps and websites I have used to become** ~ I have used to become ~はthe SNS apps and websitesを修飾しており、Iの前にwhich [that] が省略されている。I have usedの目的語がthe SNS apps and websitesである。
- 1.39 **similar to** ~ 「～に似ている」
- 1.39 **that in Britain** thatは前に出てきたthe situation を指す。
- 1.40 **people under 30** 「30歳より年下の人」ここではグラフ内の18～29歳の人のこと。underはその数を含まない。
- 1.41 **be satisfied with** ~ 「～に満足している」
- 1.42 **this way** 「このように」
- 1.42 **as well** 「同様に」
- 1.46 **only ~ if ...** 「…である場合のみ～」
- 1.46 **educate O about** ~ 「～に関してOに教える」
- 1.47 **link** 「関連、つながり」可算名詞。
- 1.48 **tax** 「税金」
- 1.48 **public transport** 「公共交通」ここでのtransportはtransportationと同じく「交通手段」の意味。
- 1.50 **manner** 「方法」
- 1.50 **mock election** 「模擬選挙」
- 1.52 **this** having a mock electionを指す。

第5問

Lillian Moller Gilbreth, an engineer and industrial psychologist, worked on changing our work environment throughout her life. Lillian was born in Oakland, California in 1878. The eldest of nine children, she was a shy girl and was tutored at home. Later, at school, she got good grades and though her father didn't think a college education was necessary for a girl, she persuaded him to let her go to the University of California, where she majored in English literature.

A turning point in her life was when she met Frank Gilbreth, the cousin of a close friend. They got along well right away and married in 1904, a year after they had met. Frank was an outgoing man who owned his own construction company. He was very interested in making workplaces more efficient and was consulted by companies that wanted their factories to be well-organized. Although he didn't have a college education, he wrote on the subject and encouraged Lillian to study psychology and management so she could help him with his work. Over the years they had more than ten children together and tried out many ideas with them to do daily tasks effectively.

Together, Lillian and Frank developed time-and-motion studies. They filmed workers doing their jobs. Then they watched the films with the workers and discussed how to make their work more efficient. Frank was most interested in the technical side of work, while Lillian was interested in the workers' psychology and how they felt about what they did. She was the first person to ask about how stress affected workers and to insist on having breaks during work. She also had the idea of providing a suggestion box at the work place.

When Frank died suddenly after they had been married for 20 years, Lillian continued with their business but some companies stopped working with her. They didn't believe a woman could be good at business or engineering. She decided then to concentrate on problems related to women. As a woman might spend as much as 50% of her time in the kitchen in those days, Lillian thought it was important that the space was designed well. In 1929 she introduced a new kitchen design at a Women's Exposition. To show how well-planned it was, she did an experiment making a strawberry cake. First the cake was made in a traditional kitchen and then in her kitchen. All of the appliances and utensils used in the experiment were the same, but in Lillian's kitchen they were placed more efficiently. The results amazed everyone. The number of processes in the kitchen was cut from 97 to 64, and the number of steps a woman walked to make the cake was cut from 281 to only 45!

Lillian kept on writing and teaching, becoming the first woman engineering professor at a university at the age of 57. She continued to make tasks simpler, and to make life easier for women. She believed any woman should



(Lillian Gilbreth)  
…労働環境を変えた

Frankと結婚  
→職場環境の効率化  
リリアンは心理学・経営学を学ぶ

- time-and-motion studies (従業員を撮影)
- ストレスの影響を調査

夫の死→事業を継続  
→女性の問題に集中  
→効率的な台所を作る

- その後
- 女性初の工学教授に
- 女性の生活をよりよく続けた

"have it all," to have both a family and a career. Her work and ideas continue to influence business and industry today. Even the shelves in refrigerator doors and foot-pedal trash cans, which she invented, remind us of Lillian Gilbreth every day.

問1 16 ④ 17 ① 18 ⑤ 19 ③  
20 ②

「あなたのグループのメンバーが、リリアン・ギルブレスの人生における重要な出来事をリストにした。出来事を起こった順に空所 16 ~ 20 に入れなさい。」

- ① リリアンとフランクは時間動作研究を開発した
- ② リリアンは女性初の工学の教授になった
- ③ リリアンはうまく整理された台所を設計した
- ④ リリアンはフランク・ギルブレスと出会い、結婚した
- ⑤ リリアンは夫の事業を引き継いだ

💡 時を表す語句に印をつけながら読み、起こった出来事を時系列に並べよう。

l. 9に They ~ married in 1904とあり、前文までの内容から Theyとはリリアンとフランクを指すので、リストの1900年代にある 16 が 17 に④が入る。l. 15に Over the years, ~ とあり、その後 l. 17で Lillian and Frank developed time-and-motion studiesと続く。よって、time-and-motion studiesの開発は1904年の数年後の話だとわかるので、④が 17 に入る。よって 16 に入るのが②である。

ll. 24 ~ 25では When Frank died suddenly after they had been married for 20 years, Lillian continued with their business「フランクが結婚して20年後に突然亡くなったとき、リリアンは事業を続けた」と述べられ、⑤はこれを言い換えたもの。結婚が1904年なので、これは1924年ごろのこととわかり、⑤は 18 に入る。また、ll. 29 ~ 30に In 1929 she introduced a new kitchen design at a Women's Exposition.とあり、このあと、この台所がどれほどうまくデザインされているかが述べられている。よって、③が 19 に入る。

残った②が 20 に入る。本文では ll. 37 ~ 38に becoming the first woman engineering professor at a university at the age of 57「57歳のときに女性で初めて大学の工学教授となって」と述べられている。リリアンは1878年生まれなので、これは1935年ごろのことで、③より後年の出来事とわかる。

以上より、本文では出来事が起こった順番どおりに書かれており、選択肢を並べると、④→①→⑤→③→②となる。

問2 21 ②・④ 22 ③・①

「ポスターの 21 と 22 の空所に適する文を選びなさい。(順序は問わない。)」

- ① 夫と子どもといっしょに実験を行うこと
- ② より短時間で作業を終わらせる機械を開発すること
- ③ 従業員を撮影するという研究方法を導入すること
- ④ 従業員を心理学的視点から調査すること
- ⑤ 従業員に自分たちの工場を与えること
- ⑥ 従業員に心理学と経営学を教えること

💡 職場の効率化について書かれた箇所を探し、その内容を言い換えた選択肢を選ぼう。

「リリアンは～と…によって、職場をより効率的にした」という文の空所を埋める問題。職場の効率化の方法については、主に第3段落で述べられている。まず ll. 17 ~ 18で They filmed workers doing their jobs.と説明していることから、③が正解。これは前文の time-and-motion studiesの内容を具体的に説明している。また、ll. 21 ~ 22に She was the first person to ask about how stress affected workers「彼女は、ストレスがどのように従業員に影響を与えるかについて尋ねた最初の人物だった」とあり、④も正解だとわかる。l. 14にあるようにリリアンは心理学を学んでいたため、その視点を職場の効率化へ生かした。

- ① ll. 15 ~ 16 they ~ tried out many ideas with them to do daily tasks effectivelyより、夫と子どもと試したのは日常的な作業を効率的に行う方法。職場の効率化に関する実験を行ったとは書かれていないので、不適。  
②⑤⑥ 記述なし。

問3 23 ㉑

「リリアンは職場環境に関して何を示唆したか。23 に入れるのにもっとも適する文を選びなさい。」

- ㉑ 従業員が仕事についてどう感じるかが仕事の効率に影響するだろう
- ㉒ 人々は仕事のスキルを磨くために、日常の作業をより効率的に行うべきだ
- ㉓ 従業員のもつストレスは、会社での人間関係を損なうだろう
- ㉔ 従業員が余計に疲れるので、長い休息はとるべきではない

💡 職場環境についてのリリアンの考えが書かれた箇所を探し、その内容を言い換えた選択肢を選ぼう。

職場環境についてのリリアンの考えは、第3段落後半に述べられている。ll. 21 ~ 23 She was the first person to ask about how stress affected workers and to insist on having breaks during work. 「彼女は、ストレスがどのように従業員に影響を与えるかについて尋ね、作事中に休憩をとるように主張した最初の人だった」から、㉑のように考えていたことがわかる。同様にこの文の内容から、㉔は誤りと判断できる。また、㉒、㉓のようなことは書かれていない。

問4 24 ㉒ 25 ㉑

「ポスターの24と25の空所に適する文を選びなさい。」

- ㉑ 効率的な台所を設計し、いくつかの道具を発明した
- ㉒ 日常作業の間の女性の安全と健康に注目した
- ㉓ より効率的に家事を行う方法を見つけた
- ㉔ 科学、数学、工学の講義を行った
- ㉕ 女性は工学と産業で成功できると主張した
- ㉖ 競争相手よりもずっと短い時間でケーキを作った

💡 女性の生活を改善するためにリリアンが行ったことについて書かれた第4段落以降の概要を把握しよう。

「リリアンは24。それが女性の生活をよりよくした。例えば、彼女は25。」の空所に適する選択肢を選ぼう。表の内容から、リリアンの「女性と仕事」における功績を表す内容となることがわかる。l. 29に it was important that the space was designed well 「その空間 (= 台所) がうまく設計されていることが大切だ」というリリアンの考えが述べられており、その後、リリアンの設計した台所が紹介されている。さらに ll. 41 ~ 43には Even the shelves in refrigerator doors and foot-pedal trash cans, which she invented, remind us of Lillian Gilbreth every day. 「彼女が発明した冷蔵庫のドアの棚

やペダル式のゴミ箱でさえ、私たちに毎日リリアン・ギルブレスを思い出させてくれる」とあり、こうした発明品もリリアンの功績の具体例として挙げられていると考えられる。よって、㉑が25に入る。

また、ll. 38 ~ 39に She continued to make tasks simpler, and to make life easier for women. 「彼女は作業をより簡素化し続け、女性にとって生活をより楽にし続けた」とあり、後半部分が24のあとの made women's life better に合致する。ここでは、㉑も含めて、リリアンの功績をまとめていることから、㉒が24に入るとわかる。

- ㉒ 女性の安全や健康については記述なし。
- ㉔ リリアンは工学教授となったが、科学や数学の講義を行ったとは書かれていない。
- ㉕ 女性も仕事をもつべきだと考えていたが、工学と産業で成功できるとは書かれていない。
- ㉖ 少ない工程でケーキを作っているが、競争相手がいたという記述はなく、誤り。

全訳

あなたのグループは、下の記事の情報を使って、「労働環境を変えた人」というタイトルのポスタープレゼンテーションを準備している。

リリアン・モラー・ギルブレスは、工学者であり、産業心理学者でもあるが、彼女は生涯を通じて私たちの労働環境を変えることに取り組んだ。リリアンは1878年、カリフォルニア州のオークランドに生まれた。9人兄弟の一番上だが、恥ずかしがりやで、家庭で教育を受けていた。のちに学校でよい成績を修め、父親は女の子に大学教育が必要だとは思わなかったが、リリアンはカリフォルニア大学に行かせてもらえるよう父親を説得し、そこで英文学を専攻した。

彼女の人生の転機は、親友のいとこであるフランク・ギルブレスと出会ったときだった。彼らはすぐに仲を深め、出会って1年後の1904年に結婚した。フランクは建設会社を経営する社交的な男性だった。彼は職場をより効率的にすることに大変興味をもっており、自分たちの工場をうまく組織化したいと思っている企業から相談を受けていた。彼は大学を出ていなかったが、そのテーマについて(考え)を書き、リリアンには、彼の仕事を手伝えるよう、心理学と経営学を学ぶことを勧めた。長年の間に、彼らは10人を超える子どもをもうけ、日常の作業を効率よく行うために、彼らとともに多くのアイデアを試した。

リリアンとフランクは共同して、時間動作研究を開発した。彼らは従業員が仕事をするとところを撮影した。それから、従業員といっしょにそれらの動画を見て、仕事をより

効率的にする方法について議論した。フランクは仕事の技術面にもっとも興味をもち、その一方、リリアンは従業員の心理と、従業員が自分のしていることについてどう感じているのかに興味をもった。彼女は、ストレスがどのように従業員に影響を与えるかについて尋ねた初めての人で、また、作中に休憩をとるよう主張した最初の人だった。さらに彼女は、職場にご意見箱を置くというアイデアももっていた。

結婚して20年後にフランクが突然亡くなったとき、リリアンは2人で行っていた事業を続けたが、彼女と仕事をするのをやめる企業もあった。彼らは、女性が経営や工学に有能だとは信じられなかったのだ。彼女はその後、女性に関わる問題に集中することに決めた。女性は当時、自分の時間の50%も台所で過ごしていたので、リリアンはその場所がうまく設計されていることが大切だと思った。1929年、彼女は「女性の博覧会」で新しい台所のデザインを紹介した。それがどれだけうまく設計されているかを示すために、彼女はストロベリーケーキを作る実験をした。最初、ケーキは従来型の台所で作られ、その後、彼女が設計した台所で作られた。実験で使われた設備や器具はすべて同じだったが、リリアンの台所では、それらがより効率的に配置されていた。結果はみんなを驚かせた。台所での作業工程の数は97から64に減り、女性がケーキを作るのに歩いた歩数は281歩からたったの45歩に減ったのだ！

リリアンは執筆と教えることを続けて、57歳のときに女性で初めて大学の工学教授になった。彼女は作業をより、簡素化し続け、女性にとって生活をより楽にし続けた。彼女はどんな女性でも「ほしいものをすべて手に入れる」、つまり家庭と仕事の両方をもつべきだと思っていた。彼女の仕事とアイデアは、今日の企業と産業に影響を与え続けている。彼女が発明した冷蔵庫のドアの棚やペダル式のゴミ箱でさえ、私たちに毎日リリアン・ギルブレスを思い出させてくれる。

### 労働環境を変えた人

#### ■リリアン・ギルブレスの人生

時期	出来事
1878年～	リリアンは子どものころ、カリフォルニアで過ごした
1900年代～	16 ↓ 17
1920年代以降	18 ↓ 19 ↓ 20

#### ■リリアン・ギルブレスの偉業

##### 1. 会社の職場

▶リリアンは 21 と 22 によって職場をより効率的にした。

▶彼女は 23 と示唆した。

##### 2. 女性と仕事

▶リリアンは 24 。それが女性の生活をよりよくした。例えば、彼女は 25 。

▶彼女は女性が仕事と家庭を同時にもつべきだと考えていた。

### 語句・構文

- 1.1 industrial psychologist 「産業心理学者」  
industrial psychology 「産業心理学」は、職業・労働などの実用的な問題を心理学的に観察・分析して研究する学問。
- 1.1 work on doing 「～することに取り組む」
- 1.2 throughout 「～の間じゅう」
- 1.3 eldest 「(形) (兄弟のなかで) 一番年上の」
- 1.4 tutor [t(j)ú:tə] 「～に個人授業をする」
- 1.6 persuade O to do 「Oを説得して～させる」
- 1.6 let O do 「Oが～することを許す」
- 1.7 major in ～ 「～を専攻する」
- 1.8 turning point 「転機、ターニングポイント」
- 1.9 get along well 「仲がよくなる」
- 1.9 right away 「すぐに」
- 1.10 outgoing 「社交的な」
- 1.10 own 「(動) ～を所有する」
- 1.11 workplace [wɜ:kpləis] 「職場」
- 1.12 consult [kənsʌlt] 「～に相談する」
- 1.13 well-organized 「(形) うまく組織化された、うまく整理された」
- 1.14 encourage O to do 「Oに～するよう勧める」
- 1.14 psychology [saikə:lədʒi] 「心理学」
- 1.14 management [mænɪdʒmənt] 「経営」
- 1.14 so (that) S can ～ 「Sが～できるように」thatが省略されている。
- 1.16 try out ～ 「～を試してみる」
- 1.17 time-and-motion studies 「時間動作研究」仕事の作業能率を向上させるための研究・調査の一種。
- 1.17 film 「～を撮影する」
- 1.22 how stress affected workers 「ストレスがどのように従業員に影響するか」
- 1.22 insist on doing 「～することを主張する」
- 1.22 have breaks 「休憩をとる」break「休憩」は可算名詞。



① 目的・意図 (pp.2-4)

Rearrange the words (p.3)

- (1) so as not to fall behind the times
- (2) see to it that it doesn't happen again
- (3) gossip do not intend to spread false
- (4) must be able to get along with very little water to survive in
- (5) I have no intention of getting married yet
- (6) in low voices lest our conversation should be overheard
- (7) pushed the books aside [pushed aside the books] to make room

Complete the sentences

- (1) *John kept his mistake secret* for fear of being laughed at [so that he wouldn't be laughed at / so as not to be laughed at / (in order) to avoid being laughed at / so people wouldn't laugh at him].
- (2) *We arranged the chairs* so that we could see each other [to make it easier to see each other].
- (3) I meant to come [arrive] (a little) earlier. / I wanted to be here earlier. / I (had) intended [tried / expected / hoped] to come earlier.
- (4) *They dissolved their own parties* for the purpose of forming [establishing / organizing / creating / developing / building] a new one.
- (5) *He turned his face away* to hide [conceal] his tears from his daughter [in order not to show his daughter his tears / in case his daughter might see his tears / so that his daughter could [would] not see his tears].

Put into English (p.4)

1. すべての人は地球の環境を守るためにあらゆる努力をすべきだ。  
Everyone should make every effort to protect [save] the earth's environment.
2. 私の叔母が英国を訪れた目的は、田舎の写真を撮ることでした。  
The purpose of my aunt's visit to England [Britain] was to take pictures [photos] of the countryside.
3. 入試も迫っていますから、風邪をひかないように気をつけてください。  
Since you'll soon be taking entrance exams, you should be careful not to catch (a) cold.
4. 自動車は便利であると同時に危険でもある。1人1人の運転者は、交通規則を守って、事故を起こさぬよう常に注意しなければならない。  
Automobiles are convenient [useful] but dangerous. All drivers should obey the law and drive cautiously at all times.
5. 魅力的な未来像を描くために、政治家はやりたい事とできる事の区別をしばしばあいまいにする。  
In order to keep voters optimistic about their future, politicians often intentionally blur the distinction [difference] between what they want to do and what they can actually do.
6. その会議の目的は、女性の権利を保護するよう、各国政府に強く求めることにあった。  
The purpose of the conference [meeting] was to request strongly [demand] that (the government of) each country protect women's rights.

## ② 原因・理由 (pp.5-7)

### Rearrange the words (p.6)

- (1) real reason for his failure is
- (2) are due to carelessness on the part
- (3) of major importance because it is the chief way through which culture is shared
- (4) is it that whenever you attempt to catch something
- (5) clever of our local council to bring that company

### Complete the sentences

- (1) *The meeting was postponed* because of (the) rain [on account of (the) rain / due to (the) rain / owing to (the) rain] *until the following day.*
- (2) What prevented [kept / stopped / hindered] you *from visiting him*? [What has kept you ...? / What is it that kept you ...?]
- (3) *She is mysterious* because she doesn't say [talk] (very) much [because she is not much of a talker / because she is a person of few words / because she says so little / because she has little to say / because of her near silence / in that she talks little].
- (4) *We were surprised to hear* [learn] that  
| about ten thousand children | die of [from] hunger [starvation] every day in the world.  
| | die every day due to starvation in the world.  
| every day about ten thousand children are starving to death in the world.

### Put into English (p.7)

1. いい時間に電話をくれたよ。君に会う約束を忘れていたよ。  
You couldn't have called at a better time. I had completely forgotten about <sup>our</sup> appointment [<sup>my</sup> appointment with you].
- 2.申しわけありませんが、急用ができましたので、早めに失礼します。  
I'm sorry, but since some [<sup>an</sup>] urgent business has <sup>come</sup> up [<sup>arisen</sup> / <sup>come</sup> about / <sup>occurred</sup>], I'd like to be excused earlier (than (I had) planned).
3. 日本の漫画は物語の複雑さゆえに、世界の若者の間で人気を博している。  
Japanese comics are (becoming / getting) popular among [with] young people [the young] all over the world [throughout the world / around the world / in the world] because of their complex story lines.
4. ここ数十年で、人間による環境破壊と乱獲のために多くの種類の動植物が著しく減少した。  
During the past few decades, the number of animal and plant species has decreased dramatically [declined sharply / fallen dramatically] because of [due to / owing to] the environmental disruption [destruction] and overexploitation [overharvesting] by human beings.
5. 今から考えると、先生の教えが私の心に響いたのは、先生の尊敬できる誠実な人柄によるところが大きかったように思う。  
Looking back now, I feel the teacher's lessons inspired me [got to my heart] because of his [her] respectable, sincere character [because of his [her] sincerity].
6. そもそもぼくがロンドンにやって来た理由の1つは、自分のことをもっとよく知りたいと思ったからなんだ。  
Originally [<sup>In the first place</sup>], one of the reasons (why) I came [went] to London was [is] that I wanted (to get) to know myself better.